

令和4年度第77回入学式式辞

校庭の木々の緑が鮮やかさを増し、暖かい春の陽射しが感じられる今日の佳き日に、保護者の皆さまのご出席を賜り、大阪府立四條畷高等学校第七七回入学式を挙行できますことは、教職員一同大きな喜びであります。

P T A会長松浦様をはじめ、ご来賓のP T A役員の皆さまには、ご多用中にもかかわらずご臨席を賜り、高いところからではございますが、厚くお礼申し上げます。

さて、ただ今入学の告示を行いました362名の新入生の皆さん、入学おめでとうでございます。在校生、教職員一同、皆さんを心から歓迎します。

新型コロナウイルスの感染拡大による様々な制約の中で、懸命に学び、難関を突破して本校への入学を果たした皆さんを誇りに思います。

本校は、1903（明治36）年、旧制四條畷中学校としてこの地に生まれ、今年で創立119年目を迎える歴史と伝統のある高等学校です。創立以来の教育方針として『質実剛健』『文武両道』を掲げ、校歌でも謳われている「自主の校風・自律の精神・自由の学園」を育んできました。卒業生は3万人を優に超え、あらゆる分野で、また世界中のいたるところで各界のリーダーとして活躍しています。

生徒たちは、『質実剛健』『文武両道』の伝統の下、「勉強とクラブの二兎を追い、極める」ことができるよう頑張っています。97%の生徒が部活動で活躍し、進路でも今春は、京都大学・大阪大学・神戸大学に合わせて82名、国公立大学には227名が合格しました。

本校入学に際し、皆さんに伝えたいことが3つあります。

一つ目は、「かけがえのない高校生活を全力で楽しむ」ということです。

畷高の良いところに関して、昨年春に卒業した73期生は、「先生が生徒を思ってくれるところですか。私は日本一だと思っています。ひとつ質問すると2時間ぐらい丁寧に教えてくださることもあります。ご自分の仕事や明日の授業の準備などもあるのに、大丈夫かなと思うぐらいです」と答えてくれました。また、別の一人は「畷高祭でみんなが主役というわけにはいかないけれど、折り合いをつけながら協力して、みんなでひとつのものを完成させていくという協調性があるところがすごいです。」と答えてくれました。畷高には、生徒も教職員も一緒にみんなで協力して頑張ろうという雰囲気があります。そんな畷高での3年間を、多様性を尊重し、優秀な同級生や先輩、後輩と個性をぶつけ合い、全力でワクワクしながら楽しんでください。

二つ目は「何のために学ぶのかについて」です。

この2年間余り、辛いことや悲しいことがたくさんありました。新型コロナウイルス感染拡大による当たり前だった日常の喪失、温暖化をはじめとする地球環境問題の深刻化、そして、現在はロシアによるウクライナへの軍事侵略、人道危機など、世界は混迷を深めています。悲惨な状況を食い止める有効な手段がないことに歯がゆさを感じます。このような激しく

変化し先の見えない時代に、皆さんは何のために学びますか？ 皆さんは、新しい学習指導要領のもとで学ぶ最初の学年になります。学びのキーワードは「探究」です。本校には「探究チャレンジ」という科目があります。「探究チャレンジ」では、未知の問題に関して、仲間と協働して課題を見つけ、仮説を立て、情報を分析・考察して最適解を導き出します。その過程を通して、グローバルな視点や柔軟な発想を養い、大学や社会で正解のない問題に直面した時に、立ち向かう力を鍛えていきます。学問とは、世のために尽くしてこそ価値があります。難関大学合格は高校生活の目標であっても目的であってはなりません。皆さんには、将来自分はどのように社会に貢献していくのかという高い志をもって、学んでほしいと願っています。

三つ目は「自己管理能力を鍛える」ということです。

本校は学校満足度がとても高い高校ですが、生徒たちは、授業の予習や復習、部活動、行事に追われてとても忙しい毎日を送っています。そして、時には失敗しながら、今できることに最善を尽くすことで高いハードルを乗り越え成長しています。その中で、一番問われるのが「自己管理能力」です。例えば、皆さんが、最初の試験で、中学校の時のような成績が取れなくても心配する必要はありません。なぜなら、本当のゴールはずっと先にあるからです。失敗して挫折することも経験です。大切なのは、時間やメンタルをコントロールする「自己管理能力」を鍛えることです。自分の弱点と向き合い、目標を設定し、計画を立て、努力を継続してください。必ず道は開けます。

さあ、今日から皆さんは暁高77期生です。今、皆さんが感じている喜びや誇り、そして一抹の不安を、3年後の卒業の時には「暁高で学べて本当に良かった」と思える3年間にしてください。私たち教職員は、皆さん一人ひとりが持っている素晴らしい可能性をさらに伸ばしていけるように全力でサポートしていきます。

最後になりましたが、保護者の皆さま、お子様のご入学、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。家庭教育と学校教育とは「子どもを育てる」という点において、共に同じ方向に進む車の両輪です。どうか本校の教育方針を十分ご理解いただき、保護者の皆様のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに今日から始まる皆さんの高校生活が、素晴らしいものになることを祈念して、式辞とします。

令和4年4月8日

大阪府立四條暁高等学校長 稲葉 剛